

# 69. 心 RI アンジオグラフィによる右室局所壁運動の評価

西村 恒彦 植原 敏男 林田 孝平  
 内藤 博昭 小塚 隆弘 林 真  
 香川 雅昭 今井 行雄 山田 幸典  
 伊藤 慎三 (国立循環器・放診)

心 RI アンジオグラフィによる右室局所壁運動の評価を試み、右室造影、心エコー図と対比検討した。方法は、心電図同期下に RAO 30° にて first pass, 引き続き LAO 40° にて multi-gate 法を行ない、(1) ED, ES 像, (2) Edge display, (3) cine display により観察した。右室の各部位は、RAO にて、(1) inflow, (2) sinus, (3) outflow, LAO にて、(4) septal, (5) lateral, の 5 segment に、かつ収縮様式は normal, reduced, none に分類した。

右室造影は正側面像であり、心エコー図は短軸方向からの観察であるが、右室梗塞 6 症例では、その収縮低下を一致して低下してとらえられた。右室梗塞における右室 EF の低下と併せ診断に有用である。また、右室梗塞を合併しない梗塞症例では左心機能の程度にかかわらず右室の壁運動は良好であった。また、肺性心、うっ血型心筋症例でも右室局所壁運動は低下したが、後者では左室局所壁運動も全体に低下を示した。本法は非観血時な方法として両心室の形態、機能の観察の上に有用である。

# 70. エルゴノビン負荷による心筋イメージングの経験

吉野 孝司 小林 享 筆本 由幸  
 藤本 淳 (大阪成人病・循環動態)

安静時に狭心痛を有し、冠動脈の攣縮が疑われた 4 例に対し、エルゴノビン負荷による冠動脈造影並びに <sup>201</sup>Tl 心筋シンチを行なった。

エルゴノビン負荷による冠動脈造影では、全例器質的病変に一致して攣縮がみられ、2 例では完全閉塞を認め、残り 2 例では狭窄度の増強がみられた。次に、エルゴノビン負荷による心筋シンチでは、4 例中 3 例に集積低下認め、1 例では冠動脈に攣縮を認めたにもかかわらず、集積低下部位はみられなかった。エルゴノビン投与により、冠動脈の完全閉塞を示した症例 2 例では、冠動脈の支配領域に一致して集積低下を認めた。うち 1 例では、狭心痛出現時になら ST 変化を認めなかった。われわ

れは、安静時に狭心痛を有し、冠動脈の攣縮が疑われる症例で、発作的に有意な ST 変化ないしは発作時の心電図を記録できなかった症例に対し、エルゴノビン負荷心筋シンチを行なっていきたいと思う。

# 71. 安静時 delayed image による心筋虚血の評価——心筋 Tl 摂取係数を用いて

成田 充啓 栗原 正 宇佐美暢久  
 (住友・内)  
 本田 稔 小川 正 金尾 啓右  
 (同・アイソトープ)

安静時 <sup>201</sup>Tl 心筋シンチグラフィーを、serial に撮影し、Tl の心筋からの washout rate を比較することで、正常灌流部、虚血部、心筋壊死部の 3 つの心筋部分の鑑別を試みた。対象は健常 3 例、虚血性心疾患 20 例である。心筋シンチは、安静時に Tl 2 mCi 静注、直後、2 時間後、4 時間後に正面、左前斜位より撮影し、心筋を 6 つの segment に区分した。心筋内 Tl 濃度は、Tl 摂取係数を用いて検討した。虚血性心疾患では、<sup>99m</sup>Tc による心アングリオも施行し、心筋 segment を、正常灌流部 (asynergy, 異常 Q 波, Tl de-defect がない)、異常 Q 波を有する梗塞部、異常 Q 波はないが asynergy の存在する虚血部の 3 つに区分した。健常例では、Tl 摂取係数は Tl 静注後 30 分で最大となり、その後直線的に減少し、その washout 一半減期 (t 1/2) は 5.6 時間であった。虚血性心疾患 120 segment 中 55 segment に asynergy が存在、内 34 segment は異常 Q 波を有し、かつ Tl initial image で defect をみた。残り 21 segment 中 14 segment は Tl initial image で defect をみ、7 segment では defect をみなかった。正常灌流心筋部、梗塞部の Tl washout の t 1/2 は、おのおの 5.9 ± 1.0 時間、5.7 ± 1.1 時間を有意差をみなかったが、虚血部 (asynergy (+), 異常 Q 波 (-)) では initial image で defect のなかった部分も含め、Tl の washout は非常に緩徐であった (13.1 ± 4.2 時間)。安静時 serial imaging での Tl washout rate の計測は、正常灌流部、虚血部、梗塞部の鑑別に有用と考えられた。